

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		第6回相模原市行政区画等審議会		
事務局 (担当課)		企画部政令指定都市推進課 電話042—769—8248(直通)		
開催日時		平成20年11月25日(火) 午後7時～午後9時30分		
開催場所		市役所第2別館3階 第3委員会室		
出席者	委員	16人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	7人(企画財政局長、政令指定都市担当部長、 政令指定都市推進課長、課長代理、担当主幹、 市民活力推進部長、次長)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 報告事項</li> <li>3 議題 行政区の名称(区名)について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 区名案の応募結果について</li> <li>(2) 区名候補の選定について</li> <li>(3) 意向調査の方法について</li> </ol> </li> <li>4 その他</li> <li>5 閉会</li> </ol>		

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

### 1 開会

牛山会長の司会のもと、開会を宣言するとともに、委員の出欠状況の報告がされた。

### 2 報告事項

事務局より、資料1に基づき、前回の審議会の経過が報告された。

### 3 議題（○委員の発言、□会長の発言、△副会長の発言、●事務局の発言）

会長の進行により、議事に入った。

事務局より、資料2、2-A、2-B、2-Cに基づいて、区名案の応募結果について、資料3に基づいて、前回の審議会で決定した区名の基本的な考え方について、資料4に基づいて、応募があった案の中から委員により支持された区名候補について、説明がされた後、審議に入った。

□ 各委員に候補案として挙げていただいたものは資料4のとおりであるが、この案以外に推す案がないか確認したいがいかがか。無いようであれば、資料4に掲げられた中から候補の絞り込みを行っていくことでご異議ないか。

○ 前回上位5つの案を選定するとしたのではないか。資料3から上位5案を選定した上で、区間の統一性などの議論をすればいいのではないか。

□ 前回の議論は、数で単純に上位5件ではなくて、委員の皆さまに寄せられた案が多くある中でまずいくつか選んでいただいて、これからどの案がよいか議論をしていくものである。この後の議論になる。

○ 漢字とかなで同じ読みの案がある。気持ちは共に同じであり、併記しておけばよいのでは。

□ 今のご意見もこの後の議論でいただければと思う。

ここで図りたいのは、委員の皆様からいただいた案の集計結果である資料4を基本に議論をしていくことでよいかということであるが、これについてはご異議ないか。

委員一同 （異議なし）

- 異議なしと認める。

区名候補の選定に当たっては、他市の例を参考にすると、4～6案にまで絞り込む例が多いようである。この審議会においても5案程度を基本に絞り込むことにしたいと思うが、ご異議ないか。

委員一同 （異議なし）

- 異議なしと認め、5案程度へ絞り込んでいくものとする。これから、資料4の案から、区名についての基本的な考え方などに照らして適切なものなのかなどの議論をしていきたいと思う。さきほど委員の方から3区に関連した議論もあったが、区ごと順番に議論していきたいと思うがよいか。

- 結構だと思う。北区、中央区、南区と圧倒的な数だったが、地元での会合では、北は方角のイメージが良くないため、西の方がよいのではないかと、中央に異論はないが、A区が西であれば、C区は南ではなくて東ではないかというような意見があった。これは1つの意見であり、この審議会で議論して決めていくべきと思う。

- 最後の方で議論して調整とする。それでは順次A区から議論を進めていく。ここで本日欠席の委員から、ご意見をいただいている。

「区名については、地元の皆様でお決めいただくことがよろしいと考えておりますので、私の立場から、区名候補として特に支持する案はございません。なお、区名案リストのうち、例えば、A区の西区、緑区、B区の中区、C区の南区、栄区などは、既に県内の政令指定都市にも存在する区名です。同一都道府県内の政令指定都市において、同じ区名を使用している事例はありますし、法的に制限があるわけではありませんが、区名は住所表記に使用されることとなりますので、一定の考慮は必要かと思えます。」という意見をいただいている。

他都道府県では、大阪などで、共通の区名を持っている例はあるし、これは1つのお考えとしてご理解いただき、皆さんに議論をしていただきたい。

それでは、A区の区名についていかがか。

- 漢字の案とかなの案をどのように扱うかについて、議論する必要がある

のでは？ 共通する問題として。意思は一緒のように思うが、どのように扱うのか。

- 最初に漢字名か、かな名かを統一してしまった場合には、市民の方に示す場合にどうするか問題になる。この段階では統一せず、皆さんの中で、漢字もかなも多いと意識して審議すればよく、最初に統一するのは難しいのではないか。例えば、「緑区」、「みどり区」の支持が多い場合、候補とする段階で、漢字で出すか、かなで出すか、両方を出すかの議論をすればよい。
- 同じ漢字でよみが違うものは？ 「相南区」で「そうなんく」や「あいなんく」と読みが違うものは？
- 漢字名の区名は、それぞれよみがなを出すということによいか。
- そのとおり。
- 「相南区（そうなんく）」と「相南区（あいなんく）」で両方出すということもありうる。
- 別の案として整理されるということですね。その整理がされればよい。
- 最後にどうするか皆さまにお諮りすることになる。最初にこの問題を整理するのは難しいので、この扱いによいか。

委員一同 （異議なし）

- それでは、A区について議論いただきたい。
- 3区の共通な問題になるが、例えば「橋本区」、「大野区」という特定の地名を入れることは市民感情的にどうなのかなと思うので議論が必要。
- 地名については、その地名がどの範囲を示すのかなどについても検討が必要だと思うが、皆さんはいかがか、特定の地名は適切ではないという意見によいか。他区にも波及してゆく議論である。

- 住所には、市名の漢字である「相模原市」が必ず入る。区名がひらがなになったときには、安定性が悪い。区名は簡単な方がよい。またゴロ合いも大事。覚えてもらわなければならない。簡単、明瞭で響きがよいなど呼びやすさも大切である。
- さきほどの特定の地名を区名に採用すべきでないというご意見については、いかがか。
- 例えば「津久井区」という名称では、城山町や相模湖町では不満を持つ方がいるかもしれない。また「大野区」という名称も大野の方はいいとしても、他の地域で不満がでるかもしれない。
- 逆に採用してもよいのではという意見はどうか。
- なければ特定の地名を使った案ははずすという方向になるが、この後、B区、C区の議論にも波及する課題であり、A区についてはこの方向ということで、後で整理する。他に意見はどうか。
- 書類を書くことが多いが、長い住所、わかりにくい住所は問題では。簡潔性や、字の数を優先すべきである。
- 議論を整理すると、地名は、はずすべき、簡潔性、音を考えるべきというものである。皆さまの支持が多かったものを機械的に並べると、「北区」、「緑区」、「みどり区」、「西区」が挙げられ、それから「相北区」、「青葉区」、「若葉区」、「けやき区」といったところが続く。
- 区名案リストでは、「北区」、「中央区」、「南区」というどこにでもあるようなものがたくさん挙がっていたが、区名を聞けば相模原とわかるものがよい。  
方位だと、郵便番号を書かないと、郵便物もあっちこっちいってしまう。「相模原市北区」というのでは、相模原市の宣伝もできない。できれば、幅を持って相模原らしい名称を選べればと思う。
- このリストの中から選ばなくてはならないという中で、意見としてはどのようなものになるか。

- 「湖水区」、「湖山区」、「かたくり区」を考えたが、それだけではつまらない。「津久井区」も津久井地域の方はよいが、橋本の方の思いもあり、難しく、「西区」、「東区」もどうかと思う。
- お悩みはわかるが、推す案となると、「湖水区」、「湖山区」、「かたくり区」を入れるべきだという意見になるか。
- ダムもあり、「湖水区」、「湖山区」というのも良いとは思う。
- 市民が政令指定都市に向かってどのような夢を持っているのかという中で、夢のない区名を出すことを市民がどのように受け止めるのかが心配。応募数で上位にきた案を尊重することと矛盾するが、方位を用いたものよりは、その地域の特徴を表すようなものがよい。  
「青葉区」は、市内の知名であるため使えないとすると、例えば「緑区」になるかと思う。  
政令指定都市に向かって審議会としても夢を語りかけるということと、実際に支持が多かった方位をどのように扱うかは悩みである。「若葉区」も地名で使われている。
- 何を根拠に案を支持するのか悩んだ。他の政令市では、方位を使っているものや、地域の特色のあるものなど、区ごと統一しないところがある。B区の中央区といったら、市役所近辺がイメージできる。A区というと、橋本、津久井などの固有の名称は受け入れがたいと思う。学校の名前をつけるときにも、ある特定の地名を使うとそれ以外の地域から異論が出るということを伺った。区ごとにいろいろな考え方が混ざっていてもよいと考えるが、A区については、「橋本区」、「津久井区」とつけることについては、議論があると思う。
- 方位については、誰から見ても北なのかは議論があると思う。今回の区名案募集は、数は出さない調査であるが、次回の意向調査ではどこの人がどう考えているのかの情報が必要になる。「北区」なのか「西区」なのかの議論がある。  
今までの議論を整理すると、
  - ・方位、位置を用いたもの（例えば「北区」、「中区」、「中央区」、「南区」）
  - ※「橋本区」、「津久井区」についてはどちらも支持がない。特定の地名を用いた区名について支持する意見はなく、どちらに決まっても異論が

でるという意見がある。

・夢が持てるような特徴のあるもの（相模原市特有の名前、「けやき区」、「さくら区」、「あじさい区」など）

・抽象的なイメージを語れるもの（「緑区」など）

の3つのコンセプトくらいで選んでいく方向と感じた。

- 「緑豊かな相模原」とよく使われる。A区の自然を表現するには「緑区」はよい。
- B区、C区は、ある程度、合併前の相模原市のイメージで定着していると思う。A区は、合併の経緯に配慮して新しいイメージとして区名を検討していく必要がある。  
A区について、自然を一括して「緑区」というのは「青葉区」や「若葉区」よりやや抽象的だが、「北区」より夢があると思う。他市では、かなを使った区名はない。
- A区の議論をしているが、B区、C区含めて3区の中の統一性がなければいけない。共通性も含めて考えていくべきである。
- ここで1案に最終決定するものではない。市民の意向を聞いた上での議論もある。
- 前回上位5つの中で話し合いをしようという話ではなかったのか。そのような意見を述べた委員もいたと思う。上位5件の中で良いか悪いか議論して、その中に別の案を加えたりするなどの検討をすべきでは。
- 今の意見は、候補の決め方をもう1回戻って、上位5位で決めるべきという意見か。
- そのとおり。
- 私が前回の審議会で述べた趣旨は、上位を優先するという風にとられてしまうと選択の余地が少なくなるので、審議会の議論で選べるようにしておいた方がいいと述べたもの。あくまでも審議会の中で候補を選ぶということを市民に知らせた上でアイデア募集すべきという意見であり、上位1位から5位までの案を採用すべきということではない。

- 前回の会議録をみてもらえばいい。1位から5位に入ったものが何で入っていないと言われたらどうするのかということである。
- そこを明らかに、あくまで審議会で選択すると明らかにすべきといったもの。その延長でいけば、審議会で最も適当と思われる考え方をもって選定していけばよい。
- 区名案の応募数と、委員の皆さんの支持数を考慮して決めていけばよいと思う。さきほどの整理に戻るが、A区は、「北区」、「西区」を採用し、特定の地名は除くことでほぼ一致していると思うが、このほかに相模原らしさを表すものについての意見はあるか。
- 青葉も若葉も緑。イメージのコンセプトとしては「緑区」だと思う。字数は1字のものを支持する。B区については「桜区」を挙げたい。
- 「北区」、「西区」「緑区」のほか、相模原らしいものでご提案があれば。
- 市のシンボルは、区ごとに1つずつは入れたほうがよいのではないか。A区で言えば「けやき区」を支持する。
- 「けやき」は、漢字では書きにくい。
- 緑と水のイメージで、何かあればいいと思うが、具体的に推す案が浮かばない。
- 「北区」、「西区」、「緑区」、「みどり区」、「けやき区」を候補とすることは、ご異議ないか。
- 多数決だから方位が入ってしまうと思うが、多数決ではなく、審議会として、議論をして、方位を除いてイメージ的なものを大事にしたという結論も審議会のリーダーシップの発揮ではないか。
- 「北区」、「西区」と意見がでていますが、方位を入れるなら1つにしたいなと思うが、北なのか西なのかの議論は住んでいるところで認識は違うのではないか。



- 方位についての意見は他にあるか。固める案としては、「けやき区」と「緑区」、「みどり区」はよろしいか。
  
- これまでの政令市では、ひらがなの区はどこも使っていない。「相模原市みどり区」というのでは、表記上バランスが悪いと思う。かなの使用の是非を議論すべき。
  
- 議事を進めるためにこのような進め方をしている。「けやき区」についてはひらがなが不適當だから入れないという議論をしてもらいたい。他区にも結果、波及していく議論になる。  
また、かなは、いけないという結論を審議会の意見として統一できるのか。漢字がよいのか、かながよいのか、人によって感じ方が違う。最初から全会一致で決められるのであればよいが、かなを使わないことで異議はないか。
  
- 確かに現在、かなを使っている区はない。ただ、市名であれば例はある。区名で前例がないから採用しないというよりは、かなの方がしっくりくるものや漢字の方がしっくりくるものもあり、かな使用の是非については、ここでは結論を出すべきではない。
  
- かな使用の是非については、個々の名称における議論の中で行っていくことでよいか。
  
- 3区一体の統一性、統一的な議論も必要と思う。
  
- 私の考えとしては、審議会で1案に絞って市民の方に意向を伺うのであれば、統一性の議論ができるが、5つずつ選定するものであり、その組み合わせは難しいのではないか。A区での議論で一定の候補のルール性が出れば、他区にも波及していくものと考え。決してひらがなにした方がよいというものではないが、議論の進め方として今の流れで進めさせていただきたい。  
ひらがなの表記について、A区の場合、「みどり区」と「けやき区」については議論があると思われるが、使わないほうがよいというご意見か。
  
- 相模原の将来のことを考えると、漢字がよい。かなは、使わないほうが

よい。

- ひらがなの「みどり区」を支持する方は？
- やわらかい感じがする。漢字の「緑区」では横浜市と同じになるので、区別する意味でも、ひらがなの「みどり区」は捨てがたい。
- ひらがなの「けやき区」を支持する方は？
- どうしても漢字ということであれば、略字を使う案もある。
- それでは、漢字の「緑区」については候補とすることでよいか。それから決めやすいところで「北区」と「西区」を絞るかどうか？
- 北はなんか暗い感じで、西の方がよい。ただ、東西南北そろうような場合であれば「北区」でもよいが、3つの区であり難しい面もある。
- 旧市だと、南北だが、新市だと東西なのかなと思う。
- 「北区」と「西区」は絞れるか。区名案応募で圧倒的に多かった「北区」を落とすという決断をできるのかとの議論もある。
- 津久井地域には西メディカルセンターがある。旧市では、北、中央、南の3地域だった。北メディカルセンターが橋本にできると、北と西のメディカルセンターが1つの区にあることにある。審議会のリーダーシップで方位を案に入れないのも1つの答えではないか。その上で市民の方に選んでいただければよい。
- なかなか審議会としてもつらいのは、上位1位から4位までをはずすというと、2300票近くある、全体の半分くらいの票を全て切るということであり、審議会としても決意が必要である。
- 審議会が説明責任を果たせばよいのでは。
- 方位をはずすということについて、区名案応募結果では、方位が一位であった。易しくて一番良いと思っている。A区は、「西区」か「北区」

かと言え、どちらもありうるのではないか。一番やさしくわかりやすい名称がいい。方位をはずすことは反対。

- 今の議論は消去法になっている。今のところ、「北区」、「緑区」、「みどり区」、「西区」、「けやき区」が案。これからは、具体的に何をはずして、何を入れるかの提案をいただきたい。これは最終結果ではなくて、市民意向を聞いた後、審議会で議論をするものである。
- 候補に統一性を持たせる点では、「若葉区」を支持する。
- 市としては、津久井を西と見るのか、北と見るのか。
- 市の一番南は、どこかと言うと、蛭ヶ岳。市の一番北は陣馬山。一番西は当然A区。つまり、A区に地図上の北、西、南がある。一番東はC区になる。これは地図上の話。旧市の時には、北部、中央、南部と使っていた。公共施設の名称では、そのイメージ上の名称を使っている。
- 今の私のご提案は、「北区」、「みどり区」、「緑区」、「西区」、「けやき区」から、加えるとか減らすという議論をしていただきたいというもの
- 「けやき区」は、はずすべき。A区のイメージがわからない。「みどり区」と「緑区」は入れてもよい。  
B、C区には市のシンボルを使った案を入れるのであれば、A区でも市のシンボルを使った案を、統一性という点で残した方がよい。
- 「けやき区」をはずして、「みどり区」、「若葉区」を入れるというものか。この案だと、「北区」、「緑区」、「みどり区」、「西区」、「若葉区」となる。「けやき区」を支持する方は？
- 整理すると、「北区」、「緑区」、「みどり区」、「西区」、「若葉区」となるが、いかがか。
- 市のシンボルであるものを各区にちりばめたほうがよい。
- A区では、「けやき区」ということか。B区では「あじさい区」とか「ひばり区」とかを入れたほうがよいということか。

「北区」、「緑区」、「西区」まではおおむね良くて、「みどり区」、「若葉区」、「けやき区」が挙がっているが、当初私が申し上げた、方位、抽象的なイメージ、市の特徴でいうと、若葉は緑と同じ抽象的なイメージであり、市のシンボルである「けやき区」を残した上で、「みどり区」を出すかどうかになる。

- 市民が何を選択するかは、わからないが、候補には、市のシンボルは残したほうがよい。
- 市のシンボルという意味では、A区の候補には市の色である緑が入っている。
- 「若葉区」についてはご意見あるか。「緑区」と、「みどり区」を採用するのであれば、これに含めることになる。  
議論を進めるために、「北区」、「緑区」、「みどり区」、「西区」、「けやき区」を仮案とさせていただき、B区について議論を行う。  
これまで議論をしてきたA区に適用したやり方を当てはめると、「中央区」、「中区」、「さくら区」、「あじさい区」、「相中央区」、「桜区」、「ひばり区」というような候補が挙がるが、ご意見をいただきたい。
- 「中区」はいいと思うが、「中央区」はひっかかる。
- 「中央区」は地名ではずすこともあるのでは？
- 合併前は、そうだったが、合併後は、津久井が中央である。地図上は。
- 3つに割って真ん中で「中区」というのはわかる。中央じゃないが真ん中。
- 関連性という選択肢という点で、A区が「北区」、「西区」となったときには、どのような候補をお示しするかという話。B区を示す方位はあるか。
- 3拠点という考え方からすると、市のへそ、中心部である。地図上の位置という議論ではなくて、市役所所在地の意味合いもあり、「中央区」もおかしくない。

- 私もなかなか区名案の応募結果で1位になったものを審議会として候補からもはずすことは決意がいるのではないかと思う。意向調査で両方お示しするのがよい。
- 位置という関連では、「中区」、「中央区」をイメージするということと、A区での「けやき区」とか「緑区」という市の象徴的なものとしては、選択肢としてどれを残すべきか。
- 「桜区」を挙げたい。漢字の案を支持する。
- 「ひばり区」を挙げたい。B区は、昔はたくさんひばりが鳴いていた。
- ひばりは、今はあまり見ない。いないものを名前とするのはどうか。
- イメージとしてのご意見ということもありうると思う。  
今のところ、「中央区」、「中区」、「桜区」、「ひばり区」。
- B区は、市の中核である。この区に自然的な名称はいかがなものか。「ひばり区」の市役所というのはいかがか。新しい工業都市を目指すのであり、その中枢性を考えると、自然を入れるのは違和感がある。
- まだ4案目であるし、これがよいという提案を。
- 「中央区」、「中区」、「桜区」以外にないと思う。桜は、日本を代表する花であり、よいと思う。
- ほかに提案はないか。
- 「さくら区」を。妥協案としてだが。
- 今のところ、「中央区」、「中区」、「桜区」、「ひばり区」、「さくら区」が案。最後に戻るので、強い意見がなければ、ここでC区に進みたい。  
C区についても、今まで議論してきたルールで言うと、「南区」、「東区」、地名の「大野区」は、はずして、B区との重複の可能性はあるが、「ひばり区」、「あじさい区」、「けやき区」が挙がる。イメージ的なものだと

何があるか。

- 「相南区」。
- 「相南区」は、地名でありますかね。この他ご提案があればいただきたい。
- 「光区」。
- 位置関係で言うと、A区で「北区」と「西区」が残ったように、「南区」と「東区」が残る。ひばり、あじさい、けやきという市のシンボルでいうと何があるか。
- 「光区」は、未来にこうごうしいからいい。「栄区」もいいと思う。
- 「栄区」は栄町で地名がある。こもれびの森から見る光をイメージして、「光区」を推す。都市の発展のイメージにもなる。
- 「光区」の漢字とかなの両方があるが。
- 漢字の「光区」を推す。
- いまのところ、「南区」、「東区」、「光区」ですね。応募結果で言うと、「南区」が圧倒的に多く、「大野区」、「相模大野区」が続くが地名であるため外れる。その後は、「東区」、「相南区」、「あじさい区」、「ひばり区」、「相模区」が挙がるが、「相南区」は地名で外れるか。
- 「相南区」は特定の地名であり、外すべき。あじさいは相模原公園で見られる特徴的なものであり、推したい。
- 「南区」、「東区」、「光区」、「あじさい区」。今4つ挙がっている。B区と重複しますが、「ひばり区」を入れるかどうかである。事務局に確認するが、他市の事例で、意向調査時に、重複した候補を挙げた例はあるか。
- 岡山市では、「城東区」を複数の区で挙げた例が見られた。

- 市民の皆さんにお諮りするのだから、候補としてはあってもよいと思われる。今の段階では、「南区」、「東区」、「ひばり区」、「光区」、「あじさい区」で5つ。他に意見はないか。
  
- それでは戻って各区を通して確認いただきたい。今の案は、  
A区：「北区」、「緑区」、「みどり区」、「西区」、「けやき区」  
B区：「中央区」、「中区」、「さくら区」、「桜区」、「ひばり区」  
C区：「南区」、「東区」、「ひばり区」、「光区」、「あじさい区」  
である。全体を見通して、ご意見があればいただいて調整をしたい。
  
- 「中央」は地名があるのでは？
  
- 「中央」という地名はあるが、地名というよりは、位置関係を表す「中央」ととらえるのが適当だと思う。
  
- 既存の町名は、原則として使うべきではないが、検討してみてふさわしいと認めれば採用してもよいのではないか。
  
- 位置関係を表す「中央」ととらえるべきと考える。特に「中央区」を不採用にすべきという意見がなければ残すこととしたい。他に意見は。
  
- かなについて、候補に入れないほうがよい。
  
- 委員の大多数の意向であれば、はずしてもいいのでは。
  
- そうすると選択肢が狭まるのでは。
  
- 附帯意見を付けて意向調査を実施することはどうか。
  
- 意向調査での数は、市民の皆さんの意見であり最大限尊重するということではあるが、もう一度審議会で議論する場があるので、そのような形で意見をつけてというのは難しい。
  
- 市民がひらがなを選択したら無視はできないと思う。

- 今日は、審議会の方向性を出すべきと思う。その上で、市民の意見を聞いて最大限尊重するという事はよいけれども、意見を聞いた上で、ひっくり返すのは大きな問題になる。
- 審議会では、かなは良くないという意見が多いが、市民はどう思っているのか。本当にだめなのか。
- 区名案の応募結果では、ひらがなはそれほど多くないと思う。
- 「けやき区」、「ひばり区」、「あじさい区」は、区ごとにイメージを絞りきれていないだけではないか。各区に応募があり、相当数が出されている。投票の機会自体を失わせてしまうことはいかなるものか。
- 地名を除いた場合、かなの案が上位に来ることから、かなの候補をはずすべきではないのでは。市民の皆さんの意見を聞いた上で、かつ、委員の見識でかなはだめだということもありうることを確認した上で、この案で、意向調査を実施することでご異議ないか。
- 地名を除いた場合、かなの案が上位に来ることから、かなの候補をはずすべきではない。
- 皆さんがおっしゃるように、上位に来たものは全て漢字で、短いものが多い。住所が長くなるという意見も多いと思う。そのような状況を確認する意味でも、この案をもって意向調査を行う。結果の数にもよるが、委員の見識でひらがなはだめだということになれば、思い切ってはずすということも視野に入れて、この5つの候補で市民の方にご意見を伺うということではいかか。なお、数のみによって決定するものではないことを確認する。  
候補の確認をする。今の案は、  
A区：「北区」、「緑区」、「みどり区」、「西区」、「けやき区」  
B区：「中央区」、「中区」、「さくら区」、「桜区」、「ひばり区」  
C区：「南区」、「東区」、「ひばり区」、「光区」、「あじさい区」  
である。この候補で異議ないか。

委員一同 （異議なし）



- 異議なしと認め、この候補で区名意向調査を行うものとする。  
次に、区名候補の意向調査の方法について議題とする。
  
- [資料5に基づき、説明]
  
- 意向調査で区名候補を並べる順番については、区名案応募数の順、委員の選定順、五十音順が考えられるが、五十音順では良くないという意見はあるか。また、同じ読みのものは、漢字を前とすることについてはいかがか。  
また、事務局に確認であるが、在勤、在学者を対象であるが、他市の住所が書かれただけの場合は、在勤か在学かをチェックする方法はないですね。学校とか勤め先の住所を書く案などはどうか。
  
- 在勤、在学の場合は、学校の住所あるいは会社の住所を書くことを考えても、5万、6万と応募があった場合、それをチェックすることは難しい。
  
- チェックをするということではなくて、他市の住所を書いた人が事実上誰でも投票できることになってしまう。在勤、在学の住所を書いていただくなどならよいが。
  
- ご指摘を踏まえて実施する。
  
- 候補を五十音順に並べるよりも、区名案を応募いただいた市民の応募数順がよいと思う。
  
- 今回は、無記名での応募数で参考程度ということもあり、応募数で並べることはいかがかという問題がある。
  
- 今の意見に賛成。応募数はおおむねの市民意見は反映している。
  
- この審議会としては、数は参考であるとして、審議をしてきたものであり、中立に五十音順にすべきと考えるがいかがか。
  
- 会長の意見に賛成する。五十音順にすべき。

- 五十音順にするなら、その旨明記すべき。
- 市民意見を反映するという意味で、応募数で並べるべき。
- この審議会で行ってきた議論は、区名案募集での応募数での議論ではなかった。実際に応募数で上位にきたものでも候補としなかったものもある。このため、区名候補については五十音順で並べるのが公平と考える。
- 候補から落ちたのは地名だから、応募数順がよい。
- 「相模区」や「新相模原区」といったものも落としている。
- これらは、地名ではない。
- この段階では、応募数にこだわるべきではない。
- 各区の集計結果の表は、公表されるのか。
- 公開されることは、前回の審議会を確認されている。
- 公表されるなら市民周知される内容だから、応募数順でいいのでは。
- 「相模区」、「新相模原区」といったものを落としているが。
- 落とした理由を説明できればいいのでは。
- 数をもって示すのであれば、なぜ数があったのに落としたのかという話になる。価値中立的に五十音順がよいのではないか。
- 数字は出さないほうがいい。
- 意向調査で数字を出すことは想定していないのでは。順番だけの話と認識している。
- そのとおり。ただ、並びを左から多い順にするというのはいかなものかと考える。「相模区」や「新相模原区」を提案した方は、なぜ応募数

順で並べているのに、提案した案は落ちたのかと疑問になると思う。今回は、審議会の判断で、さまざまな問題を考慮してこのような候補にしたものである。それを客観的に並べたので、この中から改めて選んでくださいということになると理解するがいかがか。

- 五十音順と明記があれば、会長案に賛成する。
- 並べ方については、五十音順であることを明記して行い、同じ読みのものは、漢字の名称を先にすることでご異議ないか。

委員一同 （異議なし）

- 異議なしと認める。以上で議題は終了した。

#### 4 その他

事務局から次回日程等について事務連絡を行った。

（第7回開催日程）

平成21年1月26日（月） 午後7時～

市役所第2別館3階 第3委員会室

#### 5 閉会

相模原市行政区画等審議会委員名簿

平成20年10月14日現在(五十音順)

氏名	所属団体等	第6回出席
荒井 正次	相模湖町地域協議会会長	出席
◎ 牛山 久仁彦	明治大学政治経済学部教授	出席
梅澤 カツ子	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら理事	出席
河口 哲也	郵便事業株式会社相模原支店総務課長	出席
河本 洋次	相模原商工会議所会頭	出席
菊地原 一朗	城山町地域協議会会長	欠席
桐生 迪介	相模原市医師会副会長	出席
小池 重憲	相模原青年会議所専務理事	出席
小嶋 省二	津久井町地域協議会会長	出席
篠崎 脩一	相模原市公立小中学校長会副会長	出席
志村 忠光	公募委員	出席
首藤 智美	公募委員	出席
代田 昭	相模原市自治会連合会監事	出席
○ 武田 真一郎	成蹊大学法科大学院教授	欠席
田所 昌訓	相模原市自治会連合会副会長	出席
千葉 東一	相模原地域連合議長	欠席
常盤 一夫	神奈川県警察本部警務課企画室長	欠席
中道 重幸	藤野町地域協議会会長	欠席
根岸 清	相模原市農業協同組合代表理事組合長	欠席
藤井 邦彦	神奈川県総務部市町村課長	欠席
細谷 昇	相模原市自治会連合会会長	出席
村上 洋二	公募委員	出席
吉本 一夫	相模原市社会福祉協議会会長	出席

◎ : 会長 ○ : 副会長